

甲賀市公共施設等総合管理計画 概要版 施設の最適化方針

1 背景と目的

本市の公共施設等の多くは老朽化が進んでおり、今後、集中的に維持・修繕や建替えの時期を迎え、その費用は莫大になることが予想されます。

一方で、人口減少、少子高齢化がさらに進む時代に差し掛かり、施設の利用需要の減少や利用形態の変化などが見込まれます。

このような背景から、公共施設等の機能を適正に維持しつつ、また、将来の需要に柔軟に対応し、次世代の市民への負担を出来る限り軽減するために策定します。

2 公共施設等における課題

課題1 公共施設等の全体的な老朽化にともなう改修・更新費用の増大

…全施設の50%以上が築30年経過

課題2 厳しさを増す財政的制約

…社会保障経費は今後も増加見込み

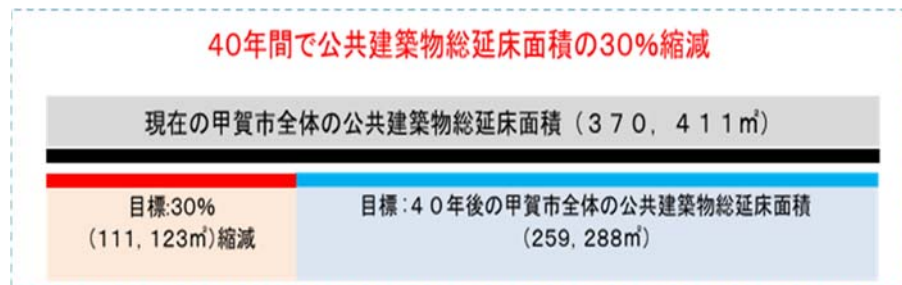
課題3 公共施設等に対する需要の変化

…人口構造や人口分布の変化によるニーズの変化

3 計画期間

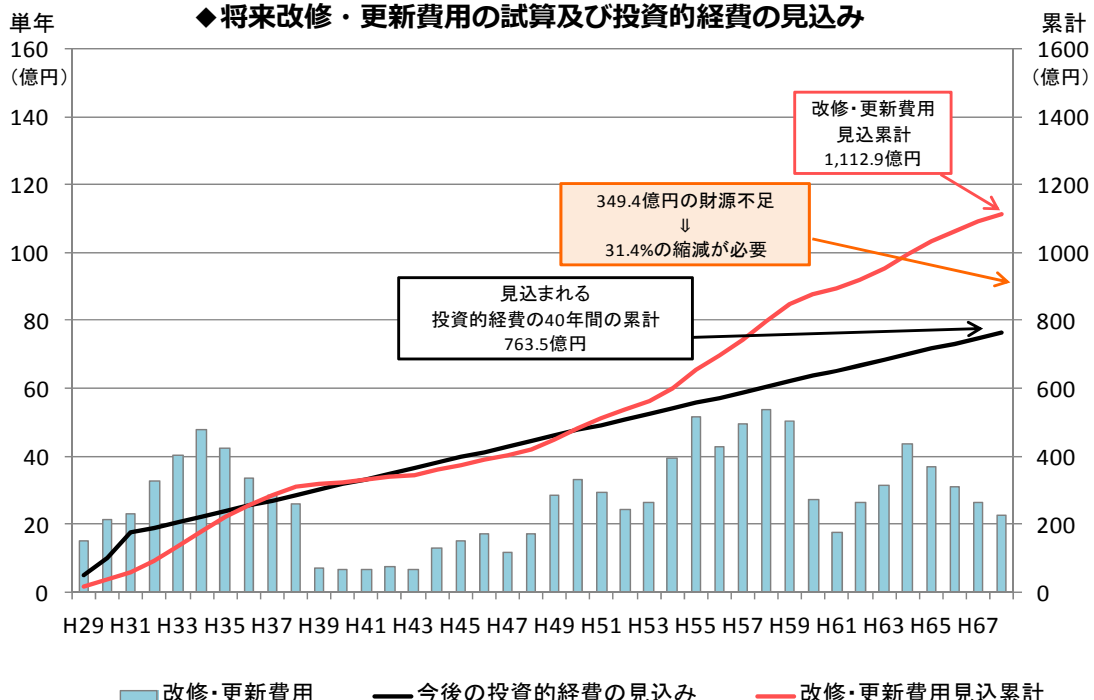
全ての既存公共建築物の大規模改修や更新（建替え）といった大きな局面を考慮し、平成29年度から平成68年度の40年間を計画期間とします。ただし、今後策定の本計画の実施計画となる「公共施設等の最適化計画」は、市総合計画の期間に合わすこととします。

4 数値目標



上記の目標は、現在保有している公共建築物の将来改修・更新費用を本市の状況に合わせた条件で試算し、投資的経費と比較することによって縮減数値を算出しました。

◆将来改修・更新費用の試算及び投資的経費の見込み



【公共建築物の基本的な取組み】

①公共建築物の施設総量(総延床面積)の適正化

施設総量(総延床面積)削減のため以下の方法が挙げられます。

- ・ 廃止:利用状況や需要予測等から、今後利用が少ないと判断される施設の利用停止を検討します。
- ・ 集約化(統合):用途が同様な施設の配置状況や利用状況、劣化状況、社会情勢の変化等を踏まえて集約化(統合)の検討を行います。
- ・ 複合化:1つの建築物に複数の用途を持たせる複合化の検討を行います。
- ・ 転用:他の用途で使用した方がより機能を発揮できる場合に検討します。
- ・ 更新(建替え)時の規模縮小:老朽化により、更新が必要となった際に、利用状況や需要予測を基にその用途に適正な延床面積にして建て替えることとします。

②既存公共建築物の活用

- ・ 老朽化が進んでいない公共建築物は必要な改修を行いつつ、複合化など更なる有効活用に向けて検討を行い、新たな施設の整備が必要となった場合は、類似施設の複合化等を検討しながら、本市の施設総量(総延床面積)が増加しないようにします。
- ・ 廃止した施設及び跡地については、売却や貸付等による有効活用を図ります。

③長寿命化の推進

- ・ 必要な施設は、これまでの不具合が見つかったからその箇所を修繕する「事後保全」から、日常的・定期的な点検に基づいて計画的に維持管理・修繕・改修・更新等を行う「予防保全」の考え方を可能な限り取り入れ、更新需要の集中化回避及び年度ごとの改修・更新費用の平準化を目指します。

【インフラ資産の基本的な取組み】

①長寿命化の推進

- ・ 既に長寿命化計画や修繕計画を策定しているインフラ資産はその計画に従って修繕を進めます。一方、既存の計画が無いインフラ資産についても長寿命化計画を策定して計画的に維持管理・修繕・改修・更新等を行い、更新需要の集中化回避及び年度ごとの改修・更新費用の平準化を目指します。

施設類型別のマネジメント基本方針

学校教育系施設や市民文化・社会教育系施設などの施設類型ごとに現状と課題を整理し、それぞれの特性を踏まえつつ、施設類型ごとの維持管理に関する基本的な方針を定めます。

計画の推進に向けて

【総合的・計画的な管理を実現するための取組体制と情報共有】

全庁的な取組体制を構築し、公共施設等管理システムを導入します。

本計画の実現に向けて、市民や議会との情報共有、効果的な広報・広聴に取り組みます。

【本計画のフォローアップ】

取組みを確実に推進するために、PDCA(計画・実施・検証・改善)サイクルにより進捗状況を管理します。また、社会情勢の変化や市民、議会等からの意見も踏まえつつ、必要に応じて本計画の見直しを実施します。

【本計画のロードマップ】

